



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	34,777.76	229.23	0.66	2.67	13.63	30,606.48
NASDAQ	13,752.24	119.40	0.88	-1.51	6.70	12,888.28
日経225	29,357.82	26.45	0.09	1.89	6.97	27,444.17
上海総合	3,418.87	-22.41	-0.65	-0.81	-1.56	3,473.07
滬深300(CSI300)	4,996.05	-65.07	-1.29	-2.49	-4.13	5,211.29
ハンセン	28,610.65	-26.81	-0.09	-0.40	5.07	27,231.13
中国企業	10,699.00	-57.37	-0.53	-1.17	-0.37	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.4%安と続落、上海総合指数は0.8%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.4%安と続落した。新興国での新型コロナの感染拡大が警戒された一方、世界的な景気回復期待が相場を支える展開。5日は米財務長官が利上げを示唆したことで銀行株が買われたものの、米ナスダックの下落を受けてハイテク株が下落。その後もハンセン指数は一進一退の展開が続いた。本土市場はメーデーの連休で5日まで休場だったため2日間の取引。上海総合指数は2日間で0.8%安と続落した。強い経済指標の発表を受けて買われる場面もあったが、総じて軟調な値動きが続いた。

今週の展望:香港市場は一進一退の展開か、29000ポイント付近が上値目処に

香港市場は一進一退の展開か。弱い米雇用統計の発表を受けて米国で超緩和的な金融政策の長期化期待が高まっていることは追い風だが、強い経済指標の発表が続く中国では逆に金融引き締めへの警戒感がくすぶっている。中国当局によるプラットフォーム企業への締め付け強化も引き続き警戒されており、方向感の出にくい状況が続く。ハンセン指数は目先29000ポイント付近が上値目処か。13日のアリババ集団の決算発表にも注目が集まる。一方、本土市場も今週はボックス圏で一進一退の展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	ヘトロファイ(00857)	3.08	8.83
2	シバック(00386)	4.16	7.49
3	中国中信(00267)	8.79	7.46
4	ホンコン・ファイガス(00003)	13.30	6.74
5	ハンセン銀行(00011)	162.30	6.43
6	中銀香港(02388)	29.15	6.39
7	パドワイザーAPAC(01876)	26.10	6.31
8	CNOOC(00883)	8.72	5.83
9	創科実業(00669)	149.30	5.44
10	電能実業(00006)	49.75	4.19

▼騰落率下位

順位	銘柄	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1	海底撈国際(06862)	43.15	-14.30
2	舜宇光学科技(02382)	170.20	-10.14
3	業明生物技术(02269)	101.80	-7.03
4	サンス・ファイ(01928)	34.55	-6.37
5	美团(03690)	282.80	-5.10
6	中国生物製薬(01177)	7.96	-4.90
7	恒隆地産(00101)	20.20	-4.72
8	吉利汽車(00175)	19.22	-4.62
9	中国平安保険(02318)	81.60	-3.94
10	瑞声科技(02018)	41.55	-3.93

▼今週の主なイベント

- 5月11日(火)
- 【中国】物価統計(4月)
- 5月13日(木)
- 【香港】アリババ集団の決算発表(4Q)

▼今週の期待材料

- ◆4月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想を大幅に下回る、超緩和的な金融政策の長期化期待高まる
- ◆NY市場でダウ平均やS&P500が過去最高値を更新、好調なNY市場が香港市場にとっても追い風に
- ◆中国でハンセンテック指数連動のETFの取り扱い解禁、本土から香港への資金流入に期待

▼今週の懸念材料

- ◆インドで新型コロナの1日当たり新規感染者が40万人を突破、死者数も4000人超と医療体制が深刻な状況に
- ◆プラットフォーム企業の株価が低迷、中国当局による締め付け強化に対する警戒感くすぶる
- ◆中国の4月の米ドル建て輸出が市場予想上回る32%増、強い指標の発表で金融引き締めが意識される可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 万科企業 (02202) : 4月の不動産販売額が4%増加、販売面積は2%増
- ☆ ジョンソン・エレクトリック (00179) : 12日に期末決算発表、市場予想は黒字転換
- ☆ SMIC (00981) : 13日に1-3月期決算を発表、市場予想は66%増益
- ☆ BYD (01211) : 4月の新車販売台数が42%増加、新エネ車はほぼ倍増
- ☆ 瑞声科技 (02018) : 13日に1-3月期決算を発表、市場予想は純利益8.2倍
- ☆ 上海復星医薬 (02196) : 独ビオンテックと新型コロナワクチンを中国で合弁生産へ
- ☆ 広州汽車集団 (02238) : 4月の新車販売台数が13%増加、1-4月は45%増
- ☆ JDドットコム (09618) : 14日に1-3月期決算を発表、市場予想は純利益3.4倍
- ☆ アリババ集団 (09988) : 13日に21年3月本決算を発表、市場予想は7%増益
- ★ ビリビリ (09626) : 13日に1-3月期決算発表、市場予想は9.6億円の赤字見通し

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。